

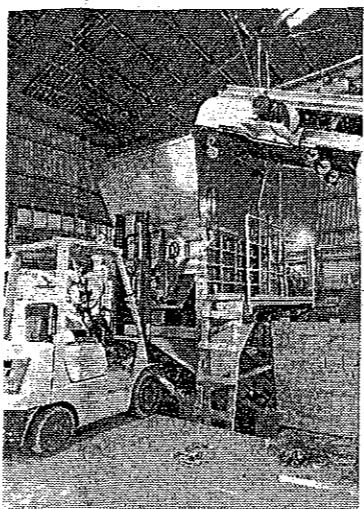
宮城の新工場を本稼働

廃タイヤ破碎、チップ製造

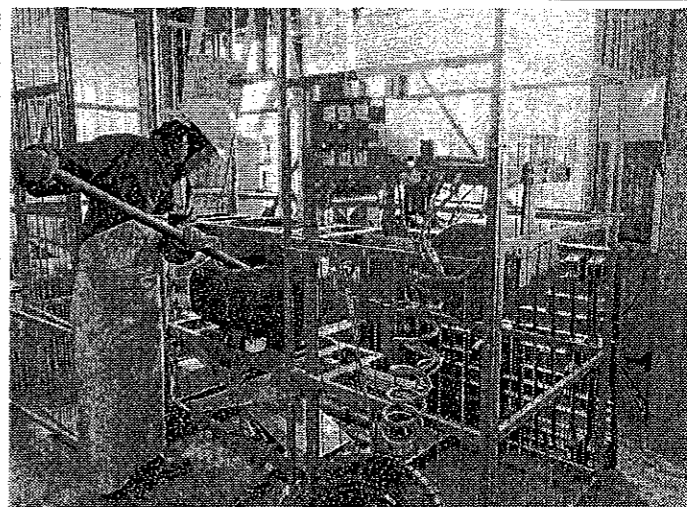
三光産業

三光産業(本社・北海道帯広市、高橋繁樹社長、☎0155・26・3530)は、仙台営業所内(宮城県大衡村)の廃タイヤ資源化工場を本格稼働させた。東北や関東甲信越から廃タイヤを受け入れてタイヤチップを製造、代替燃料として製紙や化学工場などに供給する。

仙台営業所は2010年7月、仙台市近郊の平場工業団地に開設した。これまでは廃タイヤを回収し、他社の中間処理工場に搬入するという事業形態だった。今回、廃タイヤの処理を行うため、四軸破碎機を導入し、タイヤチップの生産を開始した。破碎機の1日当たり(8時間)の処理



四軸破碎機でチップ化する



ダンプトラック作業。タイヤの中に入れて

能力は54・88トンとなっている。ほかに大型の廃タイヤからビードワイヤを取り除く設備やダブリングも設置した。ダブリングは、中古タイヤを輸出する際に使用する機械で、タイヤの中心に一回り小さいタイヤを入れることで一度に多くの本数を運ぶことができる。

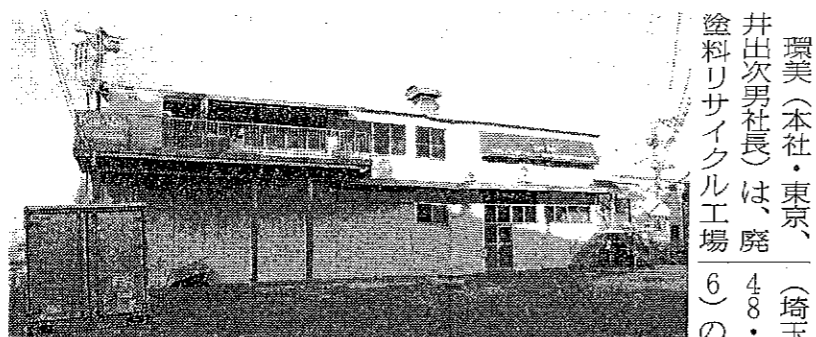
同社は1986年に設立した。廃タイヤの収集運搬、更生用タイヤの資材販売と回収、新品・中古タイヤホイール販売などを展開しており、北海道苫小牧市で廃タイヤの中

間処理を手掛ける。工場では3工程からなる破碎ラインを備え、タイヤチップをサーマル用途だけでなく、ゴムマットや舗装混入材といったマテリアル向けの出荷も行っている。

グループ会社として、新品・中古タイヤの販売や廃タイヤの中間処理などを事業とする高橋商事(北海道帯広市)、タイヤやホイールなどの輸出入業務を担うウイングコーポレーション(北海道苫小牧市)などがあり、タイヤに関する事業を幅広く展開している。

処理能力9.6m³/日

環境 セメント原料に 廃塗料の資源化工場を移転



新工場の全景

環境(本社・東京、井出次男社長)は、廃塗料リサイクル工場(埼玉県上尾市、☎048・780・776)の移転に伴い稼働時間を1日当たり24時間から20時間へ短縮し、処理能力を9・6立方メートルに引き上げた。廃塗料は混練固化し、セメントの代替原料に使用する。同社は2001年に設立、07年に国内で初めて廃塗料

専門の処理工場を開設した。事業を開始した当初は1日当たり8時間稼働で3・2立方メートルの処理能力だったが、処理依頼の増加を受け、11年4月に稼働時間を16時間に変更し、6・4立方メートルへ能力を増強した。今回の許可変更でスタート時点の3倍となる9・6立方メートルの廃塗料を処理できるようになった。新工場の敷地面積は300坪で旧工場の6倍となった。処理能力の増強に合わせ、作業性も向上した。



資源化プラント

廃塗料は水性・油性・粉体のいずれも扱える。処分方法は混練固化。許可品目は塗料に限ると条件付きで廃油・廃プラスチック類・汚泥を取得している。廃塗料の受け入れは1斗缶かドラム缶で行い、ドラム缶については無償貸出もしている。1回の処理量は、廃ラム缶半量ほどで、廃

塗料の重量に対して3%の固化剤を添加する。ミキサーで5〜6分間混練すると、固まって安定した状態になる。固化させた廃塗料は全てセメント製造の代替原料として供給する。一般的には、廃塗料は焼却などで処理され、同社のような資源化工場は非常に限られていることから処理の依頼は年々増えているという。現在、セネコンやハウスメーカーなどを中心に2000社以上の顧客を抱えている。



重河和夫社長

2020年度新ビジョンを策定

神鋼環境ソリューションを策定

神鋼環境ソリューションは5月30日、2012年度の決算説明会を神戸市の本社で開催した。かねてより推進してきた15年度ビジョンが間もなく期限を迎えることを受け、20年度に向けた新ビジョンを策定。「環境・エネルギー分野で、特色のあるプロセス・ハードウェアを提供する」存在感のあるグローバル企業となる」をコンセプトに、20年度数値目標として連結売上高1200億円、連結経常利益80億円を目指す。今後注力する新規事業として微量PCB処理事業を挙げ、14年度を目標にオンサイト洗浄処理事業を開始すると発表した。説明会では、同年度決算報告のほか、13年度見直し、10〜12年度までの3カ年中期計画の結果、13〜15年度の中期経営計画等について、同社重河和夫社長をはじめとした経営陣から説明があった。12年度は売上高726億円(前年比15億円

韓国向けが伸長

鉄スクラップ貿易統計 円安環境で割安感

鉄スクラップは昨年来の輸出好調を維持している。2013年4月期の鉄スクラップ輸出量は88万2437トンの最高値を更新した。前月比で1万6901トンの増(102%)、前年同月比で16万7393トンの増(123%)となった。飛躍的に進む対ドル円安の影響で、ドル建て取引での日本スクラップ価格はいまだ割安との見方が強い。これを受けての強い引き合いが韓国筋を中心に集まった形だ。金額ベースでは40

2013年4月の鉄スクラップ輸出の数量と金額(貿易統計より)

品名	当月		累計	
	1t当たり	数量	1t当たり	数量
合計	4万5800円	88万2437t	4万2857円	332万398t
鉄スクラップ	6万7040円	222t	4万2030円	2655t
ステンレス鋼スクラップ	13万6461円	1万6404t	13万2780円	7万265t
合金鋼スクラップ	11万8331円	2712t	11万8888円	6794t
すずめっきスクラップ	-	-	-	-
切削打ち抜きスクラップ	3万6845円	11万3518t	3万4292円	45万1819t
ヘビースクラップ	3万7533円	22万9837t	3万4952円	98万9613t
その他スクラップ	4万8128円	51万9678t	4万5530円	179万9061t
再溶解用インゴット	31万4159円	66t	31万3142円	192t

2013年4月の鉄スクラップ輸出先上位5カ国統計(貿易統計より)

国名	当月		累計	
	1t当たり	数量	1t当たり	数量
大韓民国	3万7627円	54万9053t	3万5370円	203万3781t
中華人民共和国	6万2202円	26万8631t	5万7451円	103万7259t
ベトナム	3万6000円	4万1592t	3万3245円	11万8159t
インドネシア	3万7634円	1万825t	3万5242円	2万9652t
台湾	8万8661円	1万345t	5万2766円	9万4018t

4億1511上。前月と19億855(105・09)万円の増(8%)だった。平均5800円(前月比10%)の増(10%)で、前年同

工場系・使用済み製品・金属類

増)経常利益(同3・増)増収減損と増収減損の減益の案件構成の13年度は、利益とも増し。これに年度に大型等が集中し、明がなされ、また、10前中期経営